

真のBCPとは何か ～何が起きても生き残る企業を構築するために～

BCP(事業継続計画)シンポジウム

「4年以内に約70%の確率でM7級の首都直下地震が発生する」との試算を東京大学地震研究所の研究チームが発表いたしました。首都直下地震の脅威が迫る中、東日本大震災後に廃業や売り上げの激減に追い込まれた企業を思えば、首都圏の企業が「組織存続を図る手立て」を講じておくことは当然のことです。

そこでこの度、BCPの第一人者である危機管理対策機構の細坪氏をコーディネーターとしてお招きし、BCP策定の重要性やその普及の在り方についてパネルディスカッションを開催いたします。あの忌まわしい大震災から2年、千年に一度といわれる震災を経験し、私たちは何を学び、そして何を実践してきたのか?本シンポジウムを契機に、自社のBCP策定や見直しに取り組んでみませんか?多くの皆様のご参加をお待ちしております。

平成25年3月18日(月)15:30～18:00 ※受付開始:15:00～

東商ビル4階「東商ホール」 参加費:無料

(〒100-0005 千代田区丸の内3-2-2)

定員:200名(希望者多数の場合は先着順とさせていただきます。)

対象:中小・小規模企業を対象としておりますが、大・中堅企業の方でも参考となる内容ですので、ぜひご参加ください。

時間	内容
15:30 ～16:15	1. 「真のBCPとは何か～何が起きても生き残る企業戦略を考える～」 特定非営利活動法人危機管理対策機構 理事・事務局長 細坪 信二 氏
16:15 ～16:45	2. BCP策定に関する報告 ○イツ・コミュニケーションズ株式会社 経営統括室 アシスタントマネージャー 真城 源学 氏 ○青森県 商工労働部 地域産業課 経営支援グループ 主査 小泉 勇人 氏
16:45 ～16:55	休 憩
16:55 ～18:00	3. パネルディスカッション「何が起きても生き残る企業経営を目指して」 コーディネーター: 特定非営利活動法人危機管理対策機構 理事・事務局長 細坪 信二 氏 パネリスト: ○ イツ・コミュニケーションズ株式会社 代表取締役社長 市来 利之 氏 ○ 気仙沼ケーブルネットワーク株式会社 代表取締役専務 濱田 智 氏 ○ 青森県 商工労働部 地域産業課 経営支援グループ 主査 小泉 勇人 氏

※内容が変更となる可能性がありますので予めご了承ください。